

令和2年度特別展

「又十藤野家～蝦夷地・北海道での足跡を探る」

幕末に西は宗谷・利尻・礼文、東は斜里・根室・国後・択捉と東西奥地の大場所をことごとくその手におさめ、松前第一の豪商と言われ、近代に入っても道内各地の開発に大きく貢献した藤野家の足跡を探ってみたいと思います。

期間：令和3年3月3日（水）～30日（火）

場所：別海町図書館エトランスホール



加賀家文書「絵本雑録記」より
藤野家の船の図（幕末）

特別展関連講座の開催について

日時：令和3年3月14日（日）午前10時30分～11時30分

内容：「加賀家文書「絵本雑録記」に見る幕末の又十藤野家など」

場所：別海町郷土資料館

定員：10名（3月1日（月）～3月12日（金）までに電話・FAX・メールのいずれかでお名前・電話番号をご連絡ください。）

貴重な植物標本の寄贈がありました。

釧路市在住の深津恵太さんより、野付半島で採取した植物標本147点が当館に寄贈されました。深津さんは、2019年、2020年に野付半島ネイチャーセンターの依頼により、野付半島の全植物相を調査しました。採取した植物は、種の特典、位置などのラベルと共に台紙に貼られ、植物標本として大変貴重な資料です。深津さんは、別海町の子どもたちや一般の方の学習に役立てていただければとおしゃっています。

次年度、深津さんの協力を得ながら、企画展を開催する予定です。



今年度の調査から その3 「藤野家について」

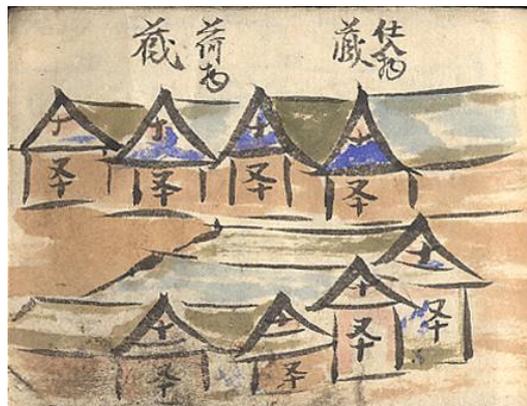
根室場所への進出

藤野家は、上余市・下余市場所、宗谷・斜里場所の経営によって事業は軌道に乗り、文化12年(1815)国後場所、天保3年(1832)根室場所、天保6年(1835)択捉場所、天保7年(1836)色丹島を請負うこととなります。天保11年(1840)根室場所請負人を罷免され、天保12年(1841)択捉場所を返上しますが、嘉永2年(1849)再び根室場所を請負います。元治元年(1861)には仙台藩より歯舞群島の請負も命じられました。

場所内に漁場を開き、漁網を改良し漁獲高を増やすなどその経営は積極的なものでした。漁業の形態は、春の鮭漁、夏の鱒漁、秋の鮭漁を中心に漁期間の操業が定型化し、アイヌを労働力としていました。

明治2年(1869)場所請負制度が廃止され、漁場持制度となります。藤野家は根室地方の開発に意欲的で、駅通所の取扱人、永住民の移住促進、漁場の分与や土地の寄付、私費での道路開削、呉服太物等を扱う白木屋の開店、小学校建設資金の寄付など根室地方の開拓に尽力しました。

また、「北新家」と称される分家の藤野辰次郎は、明治20年(1887)開拓使より別海缶詰所の払い下げを受け、藤野缶詰所として営業をはじめ、標津、国後、択捉に工場を設け事業を拡大していきました。



加賀家文書「絵本雑録記」より
藤野家の蔵(幕末)

別海町に残る藤野家の足跡

根室場所請負人となる天保3年(1832)以前の文政元年(1819)～文政6年(1823)に西別(現、別海町本別海)に出稼ぎし鮭漁を行っていたという記録が残っています。寛政12年(1800)から西別で行われていた献上鮭製造や漁獲量の豊富さなど早くから根室場所に目をつけていたと思われます。

従来からの漁場に加え新たに漁場を開くなど積極的な経営を行いました。安政5年(1858)の記録によると、ベッカイ(現、別海町本別海)に通行屋付番屋、ニシベツ(現、別海町本別海)に献上鮭製造蔵を主とする出張番屋、ノツケ(現、別海町野付)に通行屋、出張番屋、イキタラウシ(現、別海町野付)、トウト(現、別海町遠太)、アシリコタン(現、別海町走古丹)に出張番屋を設けています。

明治2年(1869)漁場持制度となり、藤野家は本州から漁夫を雇い漁業に従事させました。その他の漁場持も含め、これら出稼ぎ漁夫が定着し別海村形成の基盤となりました。明治5年(1872)には、別海から標津まで8里47間の新道を完成させました。

また、「北新家」と称される分家の藤野辰次郎は、明治20年(1887)開拓使より別海缶詰所の払い下げを受け、藤野缶詰所として営業をはじめます。

別海町郷土資料館だより No.259

発行日 令和3年2月1日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町30番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.jp

編集後記 来月3月3日から図書館にて、藤野家に関する特別展を開催します。道内には藤野家に関する様々な資料が残されていますが、全体を網羅して紹介しているものは、ありませんでした。そこで、道内の博物館施設等の学芸員のみなさんと、まずは藤野家の資料をまとめてみたのが今回の特別展になります。別海町の発展に大きく尽力した藤野家について多くの方に知っていただきたいと思ひます。(K.I)